

環境経営レポート

株式会社 サンコー技研

2023 年度

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



®環境省

エコアクション21
認証番号0004127

作成日： 2024. 4. 4

目 次

項 目	
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10



企業活動において環境問題が最重要課題の一つと位置づけられる時代となりました。当社は、精密機器に使用される繊細なパーツ、プリント基板等の精密打抜きを営む上で企業活動の中に環境配慮を感じ環境保全が共通の課題であることを認識しています。そこで、当社は、環境負荷低減及び環境配慮を行なう手段として環境省が策定したエコアクション21を取得し活動しています。

環境経営方針

環境経営理念

当社は、かげがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し全員参加で、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 溶剤など適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した製品をお客様にお届けします。
7. 環境経営の継続的改善に努めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2021年4月1日

改定日：2023年6月16日

代表取締役社長

田中 敬

組 織 の 概 要

更新日：2024年4月4日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 サンコー技研
代表取締役社長 田中 敬

(2) 所在地

本 社 大阪府東大阪市玉串町東3丁目5番38号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

担当者 生産部 岩崎 容典 TEL：072-964-3204

(4) 事業内容

各種配線板（プリント配線板、フレキシブル配線板等）の加工
電子部材（液晶用光学シート、モジュール電池用シート等）の加工

(5) 事業の規模

売上高 7000 万円

	本 社	合 計
従業員 名	14 名	14 名
延べ床面積 m ²	759 m ²	759 m ²

(6) 事業年度

4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

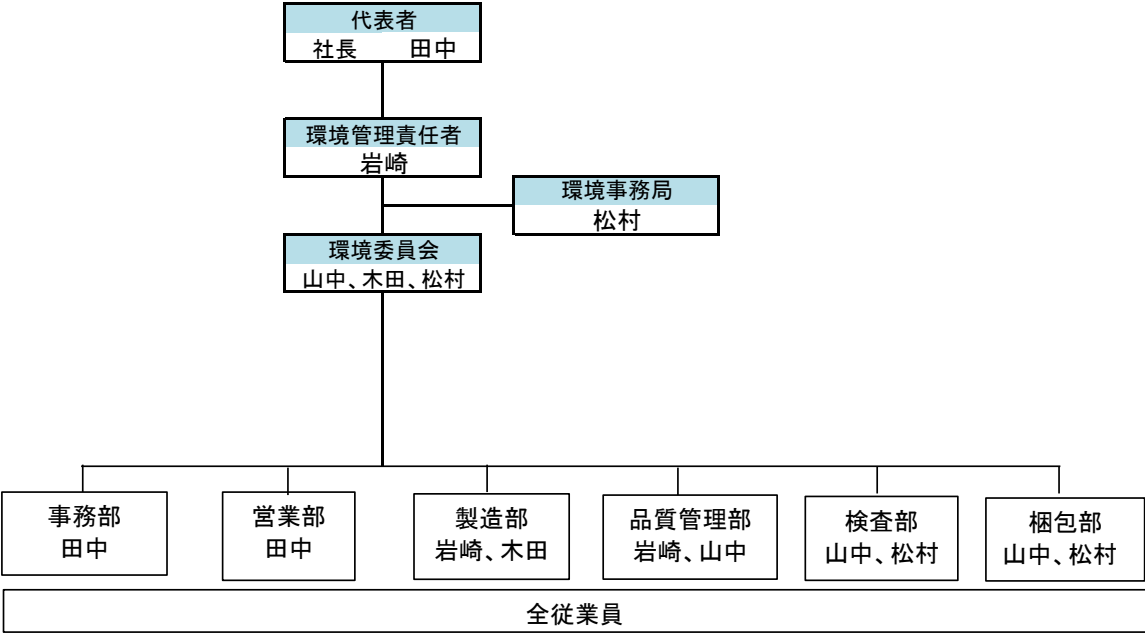
登録組織名：株式会社 サンコー技研
対象事業所：本 社
対象外：無し
活動：各種配線板（プリント配線板、フレキシブル配線板等）の加工
電子部材（液晶用光学シート、モジュール電池用シート等）の加工

□事業や製品(商品)の紹介



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年4月4日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	60,288	58,815	57,861
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	2,640	2,400	2,400
産業廃棄物排出量	k g	0	0	0
水使用量	m ³	108	75	103
			0.318	0.318

※電力の二酸化炭素排出係数：0.318kg-CO₂/kWh 関西電力㈱ 2019年度（調整後）

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

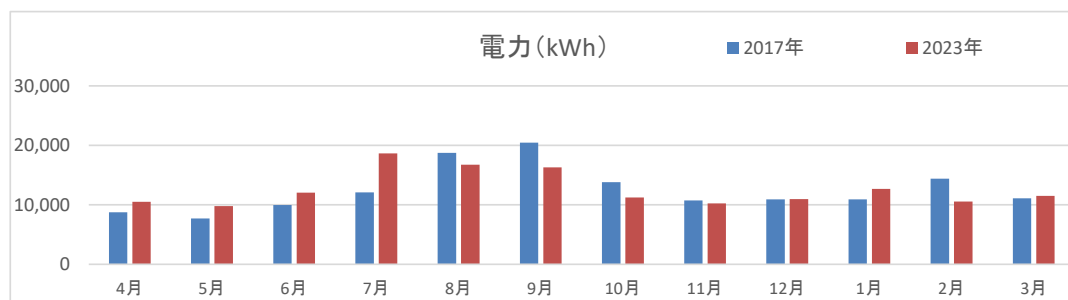
年 度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	47,266	46,321	48,065	×	46,321	46,321
	基準年度比	2017年	98%	102%		98%	98%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	39	38	30	○	38	37
	基準年度比	2015年	98%	78%		98%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	12,899	12,770	9,767	○	12,641	12,512
	基準年度比	2015年	99%	76%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		60,204	59,129	57,862	○	59,000	58,870
一般廃棄物の削減	kg	2,700	2,673	2,400	○	2,646	2,619
	基準年度比	2015年	99%	89%		98%	97%
水道水の削減	m ³	130	129	103	○	127	126
	基準年度比	2015年	99%	79%		98%	97%
洗剤使用量削減(有機溶剤)	kg	24	24	12	○	24	23
	基準年度比	2017年	99%	50%		98%	97%
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		文房具・省エネマーク付与された商品購入・不良シート、抜きカス等、産業廃棄物は材料支給元に引き取って貰っている。					
課題を解決しチャンスを活かす取組		日々の営業活動を通じて顧客との情報交換をする。					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

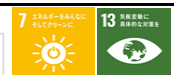
数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

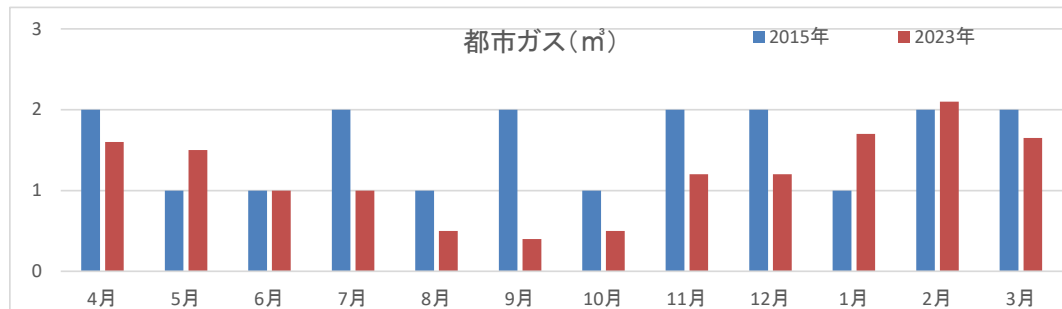
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	総量では大幅に使用量が増えている。空調温度の適正化に取り組み定着できている。新規顧客で試作サンプル加工品が稼働し始める。二酸化炭素排出量は全体で見ると減っているが次回基準年度見直しをする(2023年度)が基準とする。電力のみ2024年度から変更。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・生産方法の改善による時間短縮	△	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	8,734	7,730	9,982	12,104	18,734	20,444	13,830	10,721	10,915	10,915	14,381	11,122
2023年	10,491	9,778	12,050	18,634	16,733	16,299	11,229	10,253	10,950	12,668	10,546	11,517

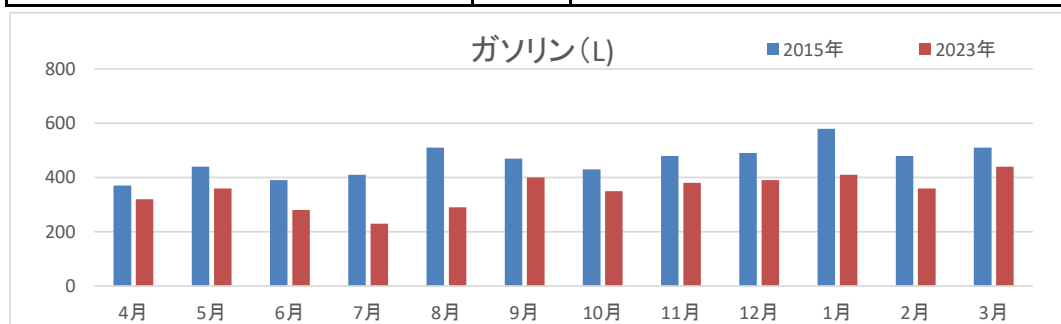


都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	使用する事は少ないが、現状維持。
・ボイラ・加熱炉の空気比の適正化	×	
・蒸気・温水配管の保温修理	○	
・温水温度の適正化	△	
・温水洗浄方法の見直し	○	



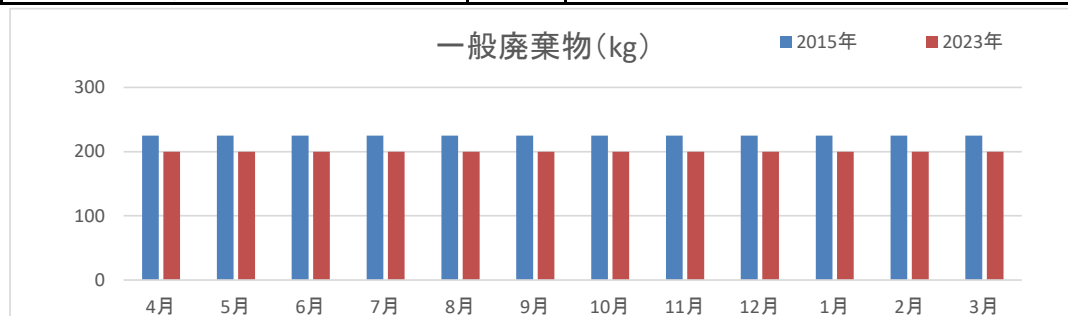
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	2	1	1	2	1	2	1	2	2	1	2	2
2023年	2	2	1	1	1	0	1	1	1	2	2	2

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ガソリン燃料の削減は18%削減になったが、ガソリン単価が高くなり、さらに削減に繋がるように考える。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	



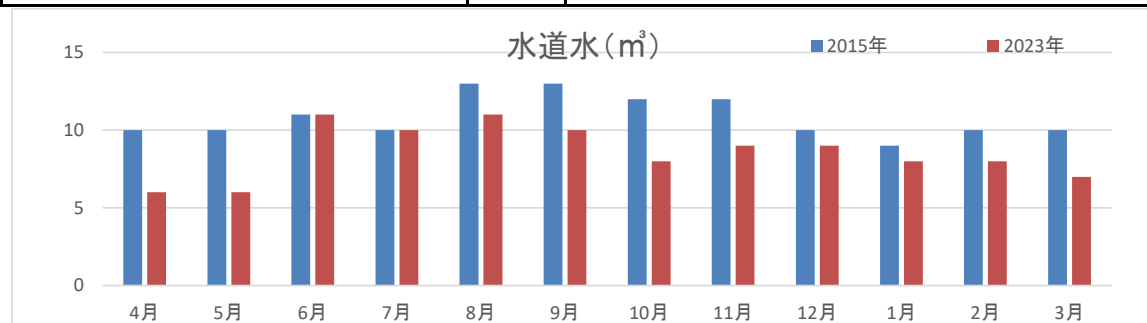
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	370	440	390	410	510	470	430	480	490	580	480	510
2023年	320	360	280	230	290	400	350	380	390	410	360	440

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ペーパーレスを活用する。 紙類は別に分けている。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・持込ごみの見直し	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225
2023年	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	42%削減している。気候の変化で使用量変化するが、節水呼びかけや提示をしている。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・自動水栓取り付け	△	
0		
0		

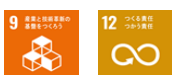


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	10	10	11	10	13	13	12	12	10	9	10	10
2023年	6	6	11	10	11	10	8	9	9	8	8	7

洗剤使用量削減(有機溶剤)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	メチルアルコール:製品等には使用しないので、金型・作業台・汚れに使用等少量 保管場所も決められた場所に保管されている。
・有害物質の表示の徹底	△	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	△	



環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・持続可能な原材料の採用	○	文房具・省エネマーク付与された商品を購入するよう心がける
・分解・分別しやすい製品の提供	○	
・有害性の少ない原材料の使用	○	



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	日々の営業活動を通じて顧客との情報交換を継続
・企業価値向上による顧客獲得	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	△	
・新製品・商品開発	○	
・働き方改革	○	



事業所の取組紹介

御社では、週末に5 s活動を徹底している。異変故障等早期発見にも繋がる。年に2回床の塗り替え。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
毒物及び劇物取締法	容器、貯蔵場所に表示
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置
顧客要求事項	環境管理、品質管理

*産業廃棄物は材料支給元に引き取って貰っている。

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等
2023年4月1日～2024年3月31日まで外部からの苦情がありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年6月16日	■実施場所 本社2階
■参加者： 従業員全員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 避難訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
特に問題無し今回は口頭で説明のみ（全員参加が出来なかった為分けて説明）	



代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年4月4日

新規顧客・試作品が増え 製品により24時間冷房管理があり、大きく電力や排出量は増え、二酸化炭素の排出量も増えた。
エコアクション21環境活動への理解と取組み内容の検討、また従業員全員が同じ方向に向かう啓蒙活動が主体となりました。
次年度も成果の見える化を意識し積極的に環境負荷の低減を目指します。
顧客クレーム件数の低減では、ISO9001の運用にて徹底した管理が維持出来ていると評価しています。

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| 実施体制他 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |